

徳島県が実施する新型コロナウイルス感染症対応への緊急協力依頼に関するQ & A

Q 1 感染防護策について

Q 1-1 マスク（N95含む）、キャップ、グローブ、フェイスシールド、ゴーグル、ガウン等の感染防護具が完備しているか？

A 徳島県が準備します。県医師会は、感染防護策がとれることを前提に協力することとしています。

Q 1-2 感染防護具はどのようなものを準備しているのか？

A タイベック式（つなぎ）の防護服（あるいはガウン、ズボン）、検体採取者はN95マスク、他はサージカルマスク、キャップ、手袋、フェイスシールド、ゴーグル、シューズカバーを準備しています。

Q 1-3 防護服は患者ごとに毎回交換するのか？

A 患者ごとには交換しません。手袋を二重に装着し、患者毎に、上の1枚を交換、手指消毒をします。

Q 1-4 感染防護具の着脱の方法を教えてもらえるのか？

A 既存のVTRを医師会のホームページで紹介しますので、見て準備をお願いします。また当日は、着脱を行うところに手順を撮影した写真を貼っておきます。また、二人体制で、相互にチェックしていただきます。なお、ご不安な方を対象に研修の機会を設けたいと考えています。

Q 1-5 検体採取の際のその他の感染防止対策は？

A 患者にはマスクを着用し、採取の際には鼻だけ出していただきます。また、患者に対しては顔の正面に立たないようにしていただきます。さらに、透明ビニールなど、患者と検体採取者との間に隔壁を設け、手だけ出して検体を採取するようできないか検討していきたいと考えています。

Q 2 聴診器、白衣、着衣、サンダル等は持参するのか？

A 診察は行いませんので、聴診器、白衣は不要です。つなぎの防護服または、ガウンを着用していただきますので、その下に着用できる衣服をお願いします。サンダルは県で準備いたします。

Q 3 どのような診療方式・流れで行うのか？

A ドライブスルー方式で流れ作業で行う予定です。①電話で受付 ②非接触式体温計で検温 ③鼻咽頭ぬぐい液検体採取（呼吸困難が強いときはSpO2計測） ④検査後の対応等の説明書配布 を流れ作業で行います。

Q 4 PCR検査はどこで実施するのか、結果の判明はいつか？

A 事務職員等が保健製薬環境センターに搬送、結果判定には6時間程度かかりますが、検体採取時間により検査実施時間が異なるため、結果をお知らせするのは翌日になることがあります。

Q 5 受検した患者に陽性者が出た場合、担当した医師等は濃厚接触者となるのか？
家族、その他周囲との接触は問題ないか？

A 感染防護策が実施できておりますので、濃厚接触者には該当しません。したがって、就業制限はかからず、診療を継続することに問題はありません。また、家族をはじめその他の方との接触も問題ありません。

Q 6 万一、事故等があつて感染した場合の補償はあるのか？

A 県知事の要請でこの用務に従事することになるので、県に補償を求めます。詳細は県と協議中です。

Q 7 宿泊療養所（ホテル）への医師の出務の時間帯は？

A 医師は基本的に電話等による診療になりますが、退所する患者のPCR検体採取と1日1回のミーティングに参加していただきたいと考えています。時間についてはまだ決定していませんが、1日2～3時間程度です。詳細が決まり次第ご連絡いたします。また、日数についてもご都合に合わせた日数にしたいと考えています。ただし、急変があると当日24時間は電話による問合せがあるかもしれません。

Q 8 出務回数に年齢等の考慮はあるのか？

A 配慮いたします。

Q 9 PCR検査実施についてはどこで決定するのか？

A この「新型コロナPCR検査外来」の受検対象者は、かかりつけ医がPCR検査が必要と判断された方のみになります。かかりつけ医が予め、電話で問診を行いPCR検査が必要だと判断された方が検査対象となります。

Q 10 検体採取時に医師が問診を行うのか？

A 問診については、かかりつけ医がしっかり問診をとっていただきたいと考えており、採取時は受付で変化がないか確認、呼吸困難症状が強ければSpO2計測の指示、高熱であれば解熱剤のみ処方等の指示をいただきたいと考えています。

Q 11 検査結果は後日連絡してもらえるのか？

A 陽性であった場合は、保健所から発生届を記載していただくようご連絡いたします。陰性者についても、医師会が設置する「帰国者・接触者相談センター」から後日ご連絡いたします。またかかりつけ医に対しても結果をお知らせいたします。